

豊高福発第 1077 号
令和元年 8 月 23 日

介護サービス事業所 管理者様
障がい福祉サービス事業所 管理者様

高齢福祉課長 渡辺直樹

認知症の人の社会参加応援プロジェクト ワークショップ（第 1 回）の
開催について（案内）

日頃は当市の福祉行政に格別な御理解と御協力を賜りましてありがとうございます。

当市では、「認知症の人の生きがい、居場所づくり」「認知症の進行予防」等を目的に、認知症の人の社会参加を推進していきたいと考えています。その一環として、下記のとおりワークショップ（様々な立場から、認知症の人の社会参加を実現するためのアイデアを出し合う）を開催しますので、お忙しいこととは思いますが、積極的に御参加ください。

記

- 1 内容 講演とグループワーク ※詳細は別紙ちらしを参照
- 2 日時 令和元年 9 月 30 日（月） 午後 2 時から 4 時
- 3 会場 豊田市役所 東庁舎 7 階 大会議室 3・4（豊田市西町 3 丁目 60 番地）
- 4 申込方法 別紙ちらし裏面の申込書に記入の上、高齢福祉課まで
FAX（34-6793）又は直接電話（34-6984）
- 5 申込締切 令和元年 9 月 20 日（金）

【連絡先】 高齢福祉課 包括支援担当 鈴木 電話 34-6984 / FAX 34-6793

認知症の人の社会参加応援プロジェクト ワークショップ(第1回)

「認知症」×「はたらく」

人生100年時代 誰もが認知症になる可能性がある
認知症の人の「はたらく」について、みんなで語り合おう

9/30
(月)

午後2時から4時

会場

豊田市役所
東大会議室4
(東庁舎7階)

内容

講演

徳田雄人氏
坂元玲介氏

ワークショップ

対象者

認知症の本人・家族等
企業
介護/障がいサービス事業所
地域包括支援センター
認知症本人の支援者

申込み

裏面申込書をFAX又は
高齢福祉課へ直接電話



徳田雄人氏

全国で認知症の人の
「はたらく」を仕掛ける

〈プロフィール〉

NPO法人認知症フレンドシップクラブ理事。東京大学卒業後、NHKのディレクターとして医療や介護に関する番組を制作。NHK退職後、認知症に関わる活動を開始。NPOの活動のほかに、認知症や高齢社会をテーマに自治体や企業との協働事業やコンサルティング、国内外の認知症フレンドリーコミュニティに関する調査、認知症の人と家族のためのオンラインショップdfshopの運営などを行っている。株式会社DFCパートナーズ代表取締役。

坂元玲介氏

高齢者の活躍の場「ミライシニア活躍
プロジェクト」を手掛ける

〈プロフィール〉

合同会社P-BEANS 代表社員。
NPO法人ほっとほーむよつといでん代表理事。平成
医療専門学院を卒業後、理学療法士として、愛知
県内の病院・施設にてシニアを中心としたリハビリ
テーション・運動指導に携わる。現在、市内にデイ
サービス、訪問看護ステーション、障がい者専門の
旅行代理店を経営。



〈問合せ〉 豊田市役所高齢福祉課 電話(0565)34-6984

※「はたらく」の定義:当プロジェクトにおいて、「認知症の人が社会参加し、役割をもって活動すること」を広くさす(有償・無償問わず)

ワークショップでは 認知症の人の「居場所」、社会参加「はたらく」など “あったらいいな”をみなさんと一緒に考えます

【大牟田市(第2回目以降ゲスト 猿渡さん)の例】

※「はたらく」(企業の困りごと)×「認知症」(本人の働きたい)をマッチング

デイサービスの利用者が近くのディーラーで洗車作業



はたらく(企業)

- ・人手不足なので、なかなか洗車まで手が回りません。ていねいに作業してもらえてとても助かります。
- ・事業所職員さんの見守りもあるので、安心して作業を任せられます。

認知症(本人)

- ・ずっと事業所の中にいるより、外に出て体を動かす作業ができるのがいいです。
- ・ディーラーの職員さんに感謝されるのがとても張り合いになります。

第2・3回目のゲスト(予定)

※ワークショップは今年度3回開催予定



猿渡達平氏

医療法人静光園白川病院医療連携室長。NPO法人認知症フレンドシップクラブ認知症まちづくりファシリテーターなどに従事。大牟田市にて高齢者の社会参加を実現するワークショップを開催。



前田隆行氏

町田市DAYSBLG!代表。認知症当事者と一緒に「想いをカタチへ」と実現すべく、介護保険制度の中でサービスを利用しながら働けるよう、行政・企業と交渉を重ね、実現。

申込書

氏名	
所属	
連絡先	

高齢福祉課
FAX
(0565)
34-6793